



2月4日(土) 三国まち歩き & まちづくり談義開催!

私も踊りたかった：
K氏



たまたま行った日は地元フラダンス愛好会の発表会があり・・・
帰りを渋る男性数人?
関連記事・・・2ページ

活動報告

2月4日 三国まち歩き & まちづくり談義
2月7日 第1回福鉄LRTアイデア会議
2月9日 第6回LRT部会
2月11日 ROBA勉強会 / 講師 南 聡一郎氏
2月12日 行財政研究会へ参加 (県立大学)
2月18日 第2回福鉄LRTアイデア会議
2月24日 2月例会・理事会

今後の予定

2月26日(日) 勝山左義長ツアー
3月上旬 臨時理事会 (予定)
3月24日(金) 3月例会・理事会

ゆうじんの部屋 書籍紹介

エコロジストのための経済学 小島寛之

東洋経済新報社 1700円+税

ISBN-492-31357-5 C3033

ゲームの理論から社会学のエッセンスを含めて環境と経済学に関わる幅広いジャンルの問題が簡単な事例で解説してあって、とりあえず環境経済学の専門家と物事がわかったような気持ちで議論できるようになるための入門書と言える。環境に優しい社会づくり運動をする人たちが説得力をつけるためのツールも豊富です。(さらに理論を極めたい方は岡敏弘先生の門をたたく必要があるでしょう。)

理想の経済制度を解説するだけでなく、最適な制度が当事者の交渉の中では実現しない事例の解説があったり、特に外部効果の大きな交通経済を語るためのヒントが満載です。交通問題を扱った部分は少ないのですが・・・。

第6章-6「自動車社会は、それあ最適だから選択されたのか」という節もありますが、面倒でも本全体に目を通すことをおすすめします。私としては、公共事業による自然改変は、多くは完成後の利益と損失をちゃんと考えてやっているのに、景気対策のみにやっているような書き方をされているのが不満。

美濃部 雄人 Minobe Yujin

三国フラ歩き 060204 参加者 / 内田・由田夫妻・畑・岸本・高橋・玉井・塚谷・林照・堤端

2月4日三国の街歩き&交流会を行いました。街歩き第一便は福井発12:00の電車で、第二便は13:40の電車で三国駅へ向かい、三国駅で第一便組と第二便が合流し、街歩きへと出発しました。電車の中から吹雪く外を眺めながら早く止んで欲しいと願いながら。三国駅に着いた時は、雪も止んでいました。まず、瀧谷寺に向かいました。到着する頃には薄日が差し、参道の木々の葉っぱに積もった雪景色にしばし見とれてしまいました。街中や参道には見られなかった雪が、境内には相当有り静寂の中で、寒さが足元から深々と忍び寄ってきます。

瀧谷寺を後にし、三国の街中をぶらぶら歩きながら、旧岸名家、旧森田銀行の見学にむかいました。途中、思案橋を見つけ、真剣に考え込む人がいたとか。三国の街中には、昔の町並みの建物が所々に、いまだに健在で、今後整備をしていくと、非常に面白い町並みが出来上がるように感じました。

本日の会場の三国湊座は旧岸名家の並びに有り、現在、改装途中で仮営業中でした。ここで「三国湊魅力づくりプロジェクト」の人たちとの意見交換会をしました。ROBAからは、路面電車の話から電車の有効利用の説明や、まち色めぐり三国、協働による公共交通とまちづくりのすすめ、のりのりマップ等の資料を配布しその説明をしました。三国湊魅力づくりPJからは、景観条例の制定された事がきっかけでPJを立ち上げたことや、PJの目的が、三国のまち歩きを主とする「まちツーリズム」を目指しているとの説明があり、2~3万人の町なので町全体で活動している印象を受けると共に、異業種の集まりであり、食の循環型社会を目指す事で、海の観光と漁業や農業、街中が結びつく事になる。三国が生き残るためには、連携する事が必要であり、メリットがあるからお互いの結びつきが強くなる、との説明がありました。

JR福井駅からえちぜん鉄道を使い、芦原温泉や三国への観光を考えている事や、東尋坊への観光客を、水上バスを使い、三国のまち歩きと連携させる事、三国の街中を歩いて楽しむ為に、自家用車と人との関係などについて意見交換をしました。最後に夕食を摂りながら、フラダンス教室の皆さんの発表会を觀賞し、三国の町を後にしました。(堤端)



瀧谷寺



思案橋



街かどギャラリー



交流会

福井鉄道 & ROBA 語る会 報告

岸本 雅行

福井鉄道への新型車両の導入が間近に迫ってきました。車両更新に合わせたPR・利用促進についてのアイデアを語る会が、2月7日(火)・18日(土)の2回にわたって開催されました。福井鉄道からは鈴置鉄道部長が出席され、車両更新を機会に福武線の新型車両を市民に訴える企画や、いかにしたら乗客を増やすことができるかなどを話し合いました。1回目の会議では、とりあえず運行開始時に絞って、生まれ変わることのPRをどのようにするのが効果的かという意見を出し合いました。今までの高床式の大型車両では利用しにくかった高齢者・身障者・ベビーカー利用の若夫婦などへのPR、さらに、高校新入生や新入社員など4月から移動環境が変わる人たちへのPRが効果的であるとの意見で一致しました。また、新入生への「のりのりマップ」配布、低床車両800形の愛称募集などのアイデアも出されました。

2回目の会議では、新型車両の導入開始日のオープニングイベントや新型車両導入のポスター作製などについて話し合いました。また、「えち鉄サポートクラブ」を参考にして、「福鉄サポートクラブ」みたいなものが作れないものだろうかという意見も出されました。

現在、福井鉄道各駅は、新型車両導入に向けてホームの切り取り工事が急ピッチで進んでいます。

駅には新型車両の写真入りのポスターも掲示され、一日も早い運行開始が待たれています。新型車両の導入を契機に、公共交通機関への県民の関心が高まり、乗客増による福井鉄道の活性化が実現することを期待します。さらに、将来の本格的なLRVの導入にも繋がってほしいものです。これらの実現のために、ROBAの会が力を合わせてサポートできればと思います。



キップは自分で買えるかな? ~青春18キップ120%活用方法を語る~ 060219

2月19日(日)県社会福祉センターにおいて、福井県子どもNPOセンター主催の中学生交流会が開催されました。「青春18切符で行く、そうだ、へ行こう!」~まったり日本一周編~と銘打って、集まったのは約40人の中学生たち。そこで、中学生たちは5人一組になってグループを作り、JR全線の普通・快速列車乗り放題という青春18きっぷを利用して、3月26~28日の2泊3日にわたる全日程の旅行プランを、すべて自分たちで作成し実行に移そうというのです。そのような果敢な中学生を応援すべく、ROBAから私塚谷がアドバイザーとして行って参りました。

午前中、普通列車で行く旅の魅力と、基本的な時刻表の見方・活用法などをレクチャーした後、午後は、それぞれグループに分かれて実際に旅行プランを作成するときの疑問点などに答えるお手伝いをしました。グループによって、東京方面、四国方面など行き先はさまざま。「山手線を一周するのはどれくらい時間がかかるの?」、「広島の大島神社は台風被害があったあと修復されているの?」など、即答に困る質問も飛び出しましたが、皆でワイワイ楽しく自分たちの旅行プランを練っていました。

個人的に気になったのは、「今までに、親や先生に頼らずに電車やバスを使ったことがある人、手を挙げて。」と質問してみたところ、手が上がったのは4分の1の10人ほど。福井は車社会だけに、公共交通を使う機会が少ないのだなあと実感しました。でも、こういったイベントを通じて、公共交通の使い方が分かって親しみを感じてくれるようになってもらえたらいいなあ、と思った次第です。

(塚谷)

とし乗り日記・・・No.1



西鯖江駅に700系試運転が停車していたので思わずカシャ
工事が終わったらこんな風になるやぁ～



作/漆崎 耕次

(水野)

編集後記・・・編集委員より一言

林(変集長)

「さあ春に向けて減量するぞー！減量するぞー！」

清水(副編集長)

「春よ来い！来てくれ！」

内田(発行責任者)

「少し春めいてきたけど、身体は冬のまま・・・。」

事務局 特定非営利活動法人

ふくい路面電車とまちづくりの会(ROBA)

910-8031

福井市種池1丁目1905-3

TEL:0776-25-7968

e-mail : roba@mbh.nifty.com

URL : <http://roba.cocolog-nifty.com/roba/home/>